

トランスボックスポール

取付・取扱説明書

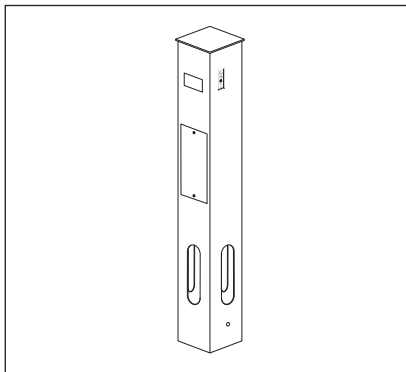
このたびは「トランスボックスポール」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前には、この「取付・取扱説明書」をお読みの上、正しくお使いください。

● 仕様(共通)

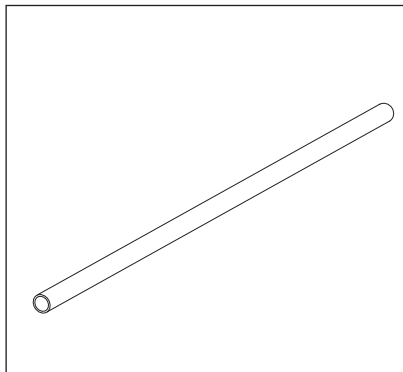
品名	寸法	ポール材質	容量	重量
トランスボックスポール	□82×H650mm (埋込深さ300mmを含む)	アルミニウム合金	別紙トランスボックスの取扱説明書に準ずる	約2.1kg

● 本体

本体 1個



ねかせパイプ 1個



● 施工の前に

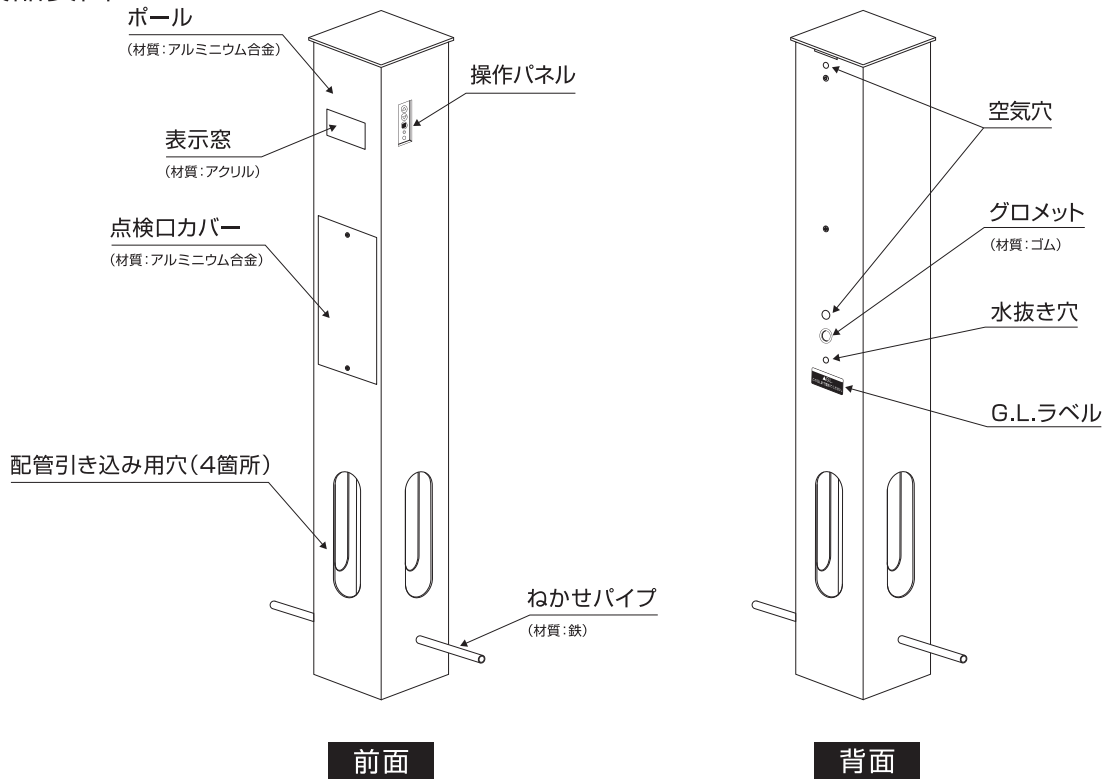
- 製品の施工には危険を伴う場合があるため、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- この器具は、地面埋込専用です。指定場所以外には取り付けないでください。
火災・転倒の原因になるおそれがあります。

● 施工上のご注意

⚠ 警告	
⚠	● 電源線・ケーブルを無理に曲げたり、引っ張らないでください。電源線・ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。
	● 布や紙など、燃えやすいものを被せないでください。
⚠ 注意	
⚠	● ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け、固定してください。
	● 分解・改造・仕様変更はしないでください。 ケガや事故の原因となります。
	● 施工終了後、ガタツキがないか確認してください。
	● 施工中についた汚れは取り除いてください。
⚠	● メンテナンスを考慮した施工をおこなってください。
	● 本製品は電気製品であり、永久に使用し続ける製品ではありません。
	● 接続部には必ず自己融着テープを巻いて絶縁・防水処理をおこなってください。
	● 無理な荷重をかけないでください。

施工後は、本書をお施主様へお渡しください。

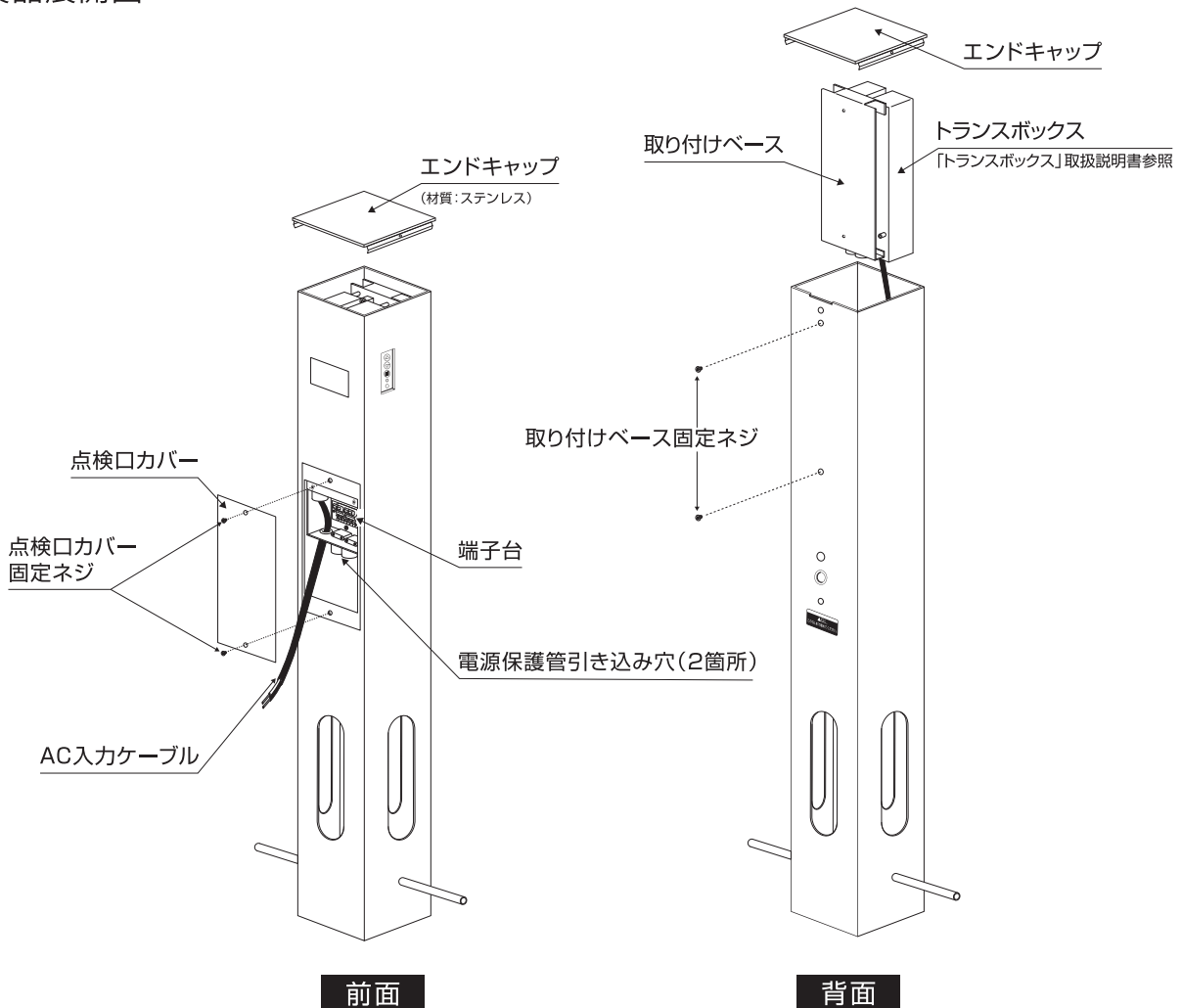
● 製品姿図



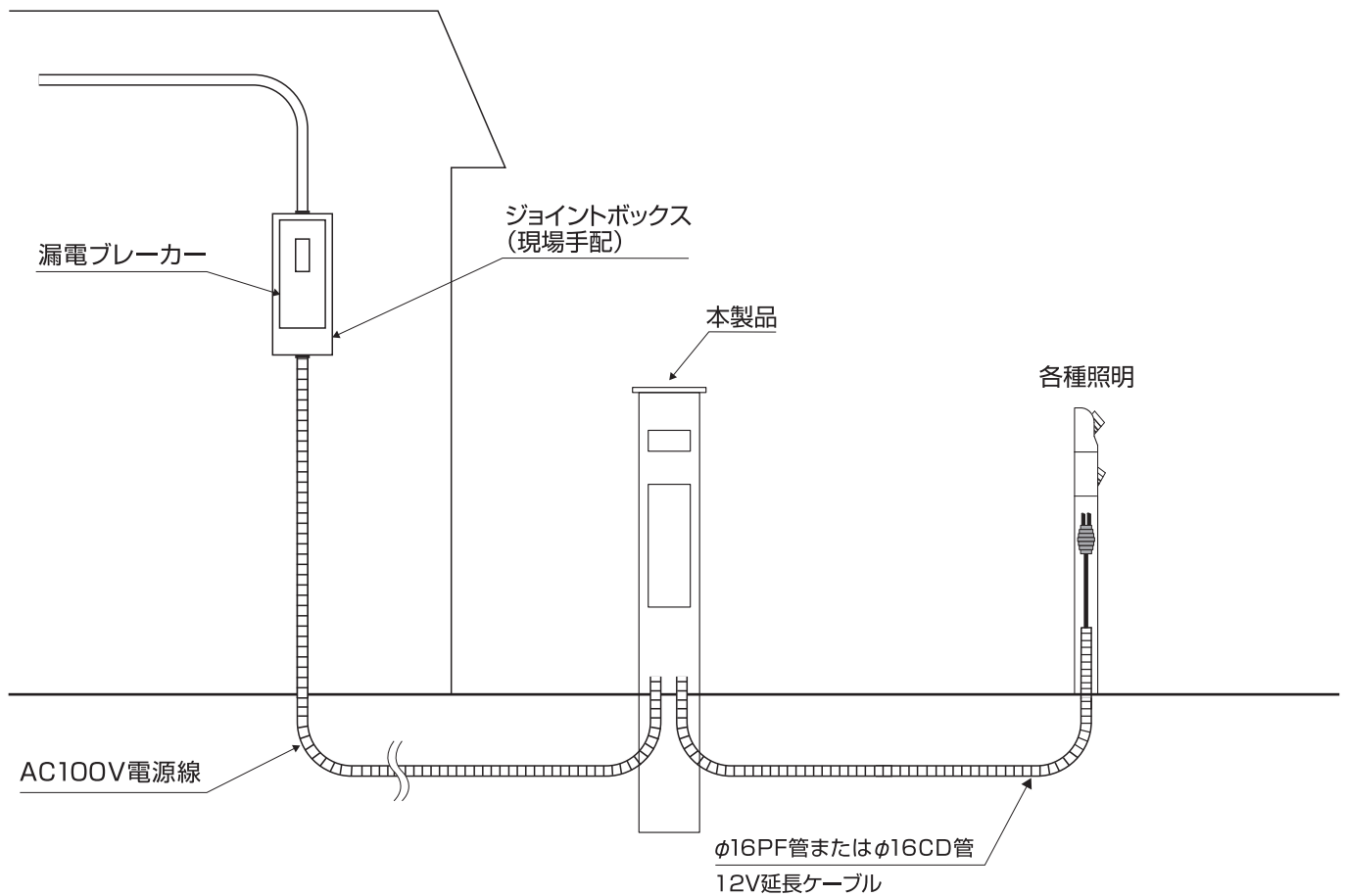
※注)配管引き込み用穴は4箇所あります。

φ16PF管、φ16CD管は3本ポール内部に引き込むことができます。(4本引き込むことはできません)

● 製品展開図



● 施工イメージ

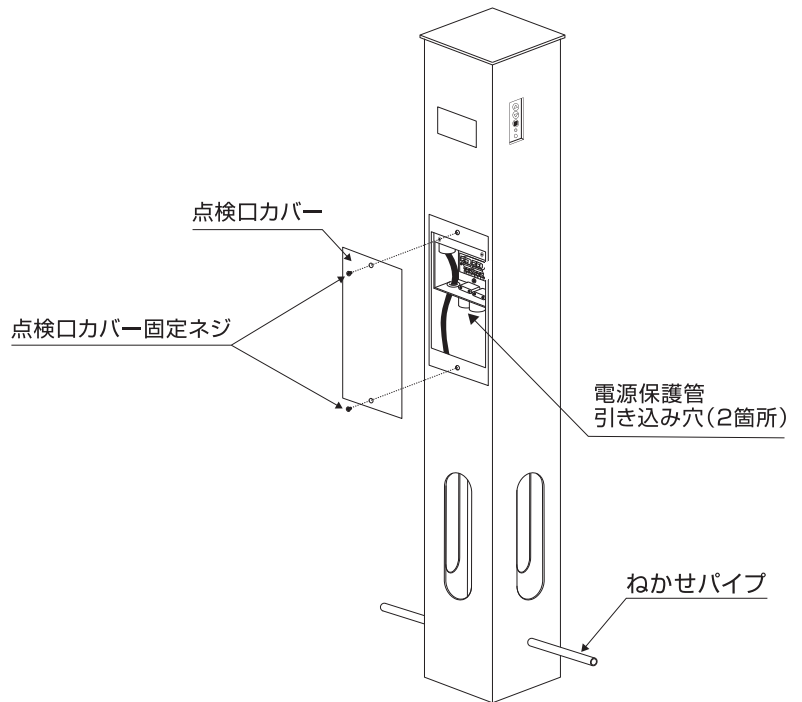


- ※ 本製品の入力側には、AC 100V以外は使用しないでください。
本製品の出力側には、DC 12V入力の照明器具以外は接続しないでください。
過電圧を加えると火災・感電の原因になります。
- ※ 本製品のすき間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。火災・感電の原因になります。
- ※ 接続する照明器具の容量は、トランスボックスの取扱説明書で確認してください。
- ※ 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。火災の原因になります。
- ※ 本製品付近ではラジオ等にノイズが入る場合があります。

● 施工方法

- ① ねかせパイプを図のように取り付け、点検口カバー固定ネジを取り外し、点検口カバーを取り外してください。

注) 点検口カバー固定ネジは、後工程で必要になりますので紛失しないように注意してください。



地中配管の場合

- ② 配線引き込み用穴より電源側の電線保護管をポール内部に引き込んでください。
- ③ 出力側の電線保護管はトランスボックスの電線保護管引き込み穴に差し込んでください。

注1) ポールは土壌のしっかりとした場所に施工してください。

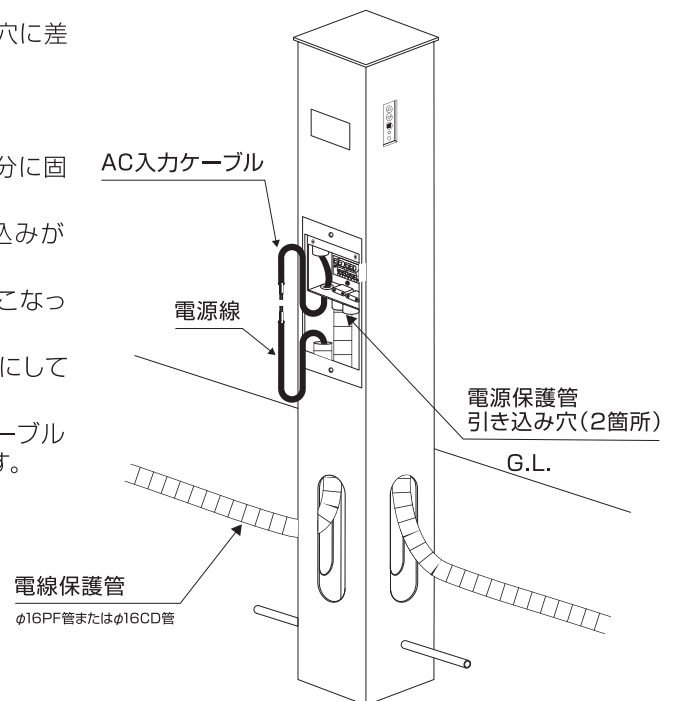
注2) 柔らかい土壌では、コンクリート等で基礎を設けるなど十分に固定してください。

注3) ポールはG.L.ラベルまで必ず埋め込んでください。埋め込みが不十分だと製品が倒れるおそれがあります。

注4) ポール内部は水が溜まりやすいので、必ず排水処理をおこなってください。

注5) 水抜き穴(1箇所)と空気穴(2箇所)は、ふさがないようにしてください。

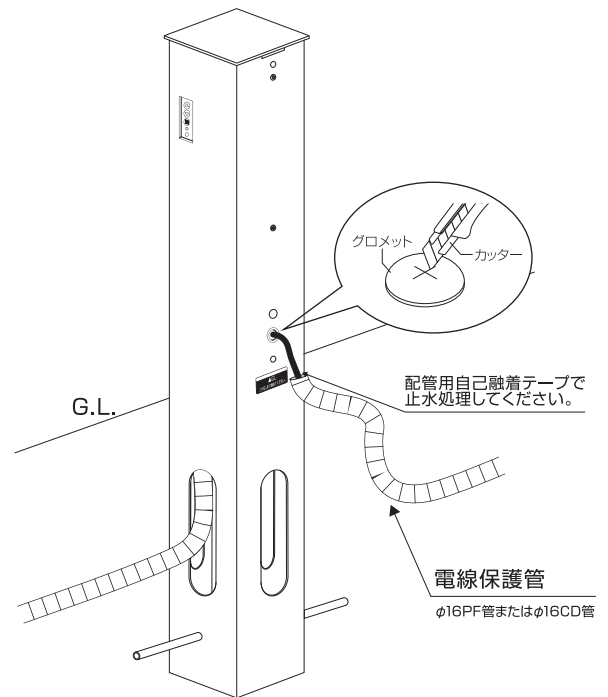
注6) 荷重のかかる場所(車両が通行するような場所等)にケーブルを敷設しないでください。ケーブルの断線の原因となります。



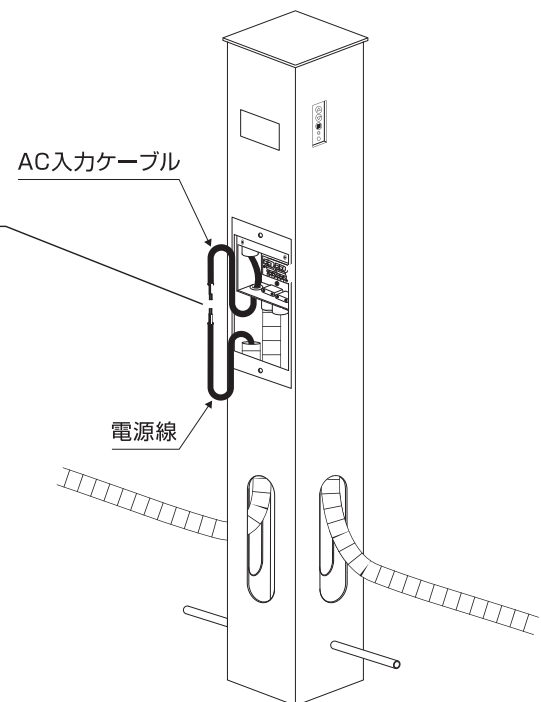
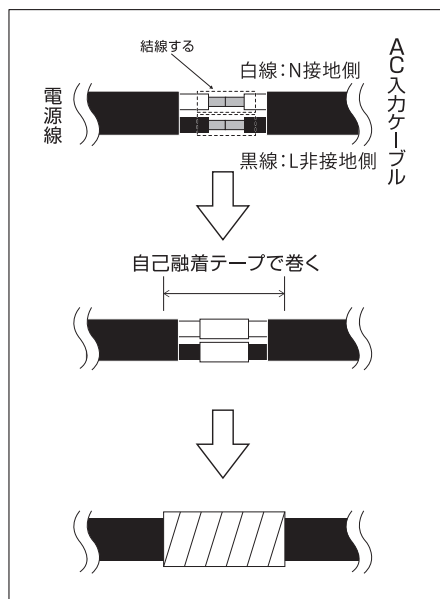
地上配管の場合

- ② 配線引き込み用穴より電源側の電線保護管をポール内部に引き込んでください。
- ③ 出力側の電線保護管は右図のように施工し、グロメットにカッターで切り込みをいれ、出力線側のケーブルをポール内部に引き込んでください。

- 注1) ポールは土壌のしっかりとした場所に施工してください。
- 注2) 柔らかい土壌では、コンクリート等で基礎を設けるなど十分に固定してください。
- 注3) ポールはG.L.ラベルまで必ず埋め込んでください。埋め込みが不十分だと製品が倒れるおそれがあります。
- 注4) ポール内部は水が溜まりやすいので、必ず排水処理をおこなってください。
- 注5) 水抜き穴(1箇所)と空気穴(2箇所)は、ふさがないようにしてください。
- 注6) 荷重のかかる場所(車両が通行するような場所等)にケーブルを敷設しないでください。ケーブルの断線の原因となります。
- 注7) コンクリート等に施工する場合、地上配線はおこなわないでください。



- ④ 本製品のAC入力ケーブルと本製品に引き込んだ電源線を防水圧着スリーブなどを用いて結線してください。結線した後、自己融着テープを巻いてください。



- 注1) 本作業は、必ず電気工事士の人がおこなってください。
- 注2) 本製品のAC入力ケーブルの白線は接地側となります。

- ⑤ 本製品に引き込んだ出力側のケーブルを端子台に接続してください。端子台への接続方法・注意事項はトランスボックスの取扱説明書P5を参照してください。
- ⑥ 本製品にAC100Vを入力し、トランスボックスの取扱説明書P6の手順にて、照明が点灯するか確認をおこなってください。
- ⑦ AC入力ケーブルをポール内部にしまい、施工①で取り外した点検口固定ネジを取り付ける。
- ⑧ トランスボックスの取扱説明書P7にしたがって、現在時刻の設定をおこなってください。

● お手入れについて

- 以下のような条件下においては、サビが発生することがあります。
 - ・鉄粉などによる異種金属が付着するような立地環境地(工場地帯や鉄粉が舞う工事現場など)
 - ・排ガス中の有害物質が付着するような立地環境地(工場地帯や交通量の多い市街地など)
 - ・塩分が付着するような立地環境地(海岸地帯など)
- お手入れは中性洗剤を使用してください。
 - ・塩酸・シンナー・石油・塩素系溶剤等は使用しないでください。
 - ・研磨剤の入った洗剤・歯磨き粉は使用しないでください。
- 固いものでこすったり磨いたりしないでください。
 - ・ブラシ・歯磨き粉などは使用しないでください。
 - ・タオルなどの柔らかい素材のものを使用してください。
 - ・油污等は、ぬるま湯で濡らし固く絞った柔らかい布を使うと綺麗に拭き取れます。
 - ・汚れがひどい場合、水で薄めた中性洗剤を布に染み込ませ拭き取り、必ず最後に水洗いしてください。

● ご使用に関して

- 本製品は電気製品であり、永久に点灯し続ける製品ではありません。
- LEDの色味にバラツキがあるため、同品番の製品でも発光色・明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は電源を切り、販売店・工事店にご相談ください。

● 保管・廃棄

保管：保管の際は下記の要領でおこなってください。

- ・購入時と同じ状態で梱包してください。
- ・梱包ケースの上に物を置かないでください。
- ・梱包ケースに局部的な外圧をかけないでください。
- ・常温(20±15℃)、常湿(65±20%)の場所に保管してください。

廃棄：所轄の地方自治体が定めた方法に基づき、適正に処理してください。

なお、廃棄の際にはケガをしないよう手袋等を使用してください。